

テーマ

**子どもと共に育つ地域 夢よはばたけ！**

～子どもたちを中心にした人の交流の活性をめざして～

目標

- 保護者、地域、教職員が共通理解を持って子どもの成長を見守り、支援する活動を実施する。
- 地域活動に子ども達が積極的に参加することにより、学校と地域の協働関係を強める。

## 今年度の取組紹介

富雄中学校区で取り組まれている「環境整備」は年々定着し、マスコミや行政の広報に取り上げられることもあり、地域での知名度も上がってきました。中学校生徒会主催の「クリーンキャンペーン」では多くの地域ボランティアの協力を得、今年度は初めて小学校の「ボランティア委員会」と交流し、小中が連動した動きへと進みました。



「子ども茶道教室」や「しめ縄づくり」「エコ石けん作り」、神社のお祭りへの参加等、「放課後子ども教室」と中学生との連携もさらに進みました。

中学校のボランティア部も活動範囲を広め、校内のボランティア活動や「富より団子」の取り組みに加え、福祉施設への慰問、地域防災訓練への参加、社会福祉協議会主催「コミュニケーション麻雀」への協力など、地域での活動の場を増やしました。



中学校区全体での地域ボランティア意見交換会を開催し、中学校敷地内で栽培している黒米の「収穫祭」にもご参加いただきました。

外部諸団体（青年会議所、大学）との連携、相互協力も進みました。

## 今年度のまとめ

ボランティア活動や地域防災をテーマに、地域での子どもたちの交流、大人の交流が活発になったことにより「学校を中心とした地域の活性」が見えるものとなってきました。地域社会全体でする「子育て」という考えに共感していただける方も増え、小学校区ではボランティアさんの子どもたちへの接し方についての意識が向上するなど、頼もしい声が聞こえています。

## 来年度に向けて

「めざす子ども像」を地域が共有することにより、これまでの活動をより丁寧に持続発展させられるよう、コーディネーターの動き方も含め、体制を整えたいと考えています。

「かまどベンチ」など、防災をテーマに地域自治会と学校・子どもたちの協働を進めるとともに、隔年開催の「夏期研修会」の年にあたるため、地域、教職員共に意識向上のための研修をつみたいと考えています。

テーマ **子どもと共に育つ地域 夢よはばたけ！**

～小中一貫・防災・キャリア教育の推進～

- 目標
- ① 幼小中の連携・小中一貫教育を推進する。
  - ② 防災意識の向上を目指す。
  - ③ キャリア教育の推進（「富より団子」の販売促進・進路面接指導など）
  - ④ 図書室地域開放

今年度の取組紹介

- ・今年度の取組として、富雄北小学校と鳥見小学校に防災に関する出前授業を行い、防災の意識向上に取り組みました。
- ・より生徒の意欲を高める活動として、「ベルマーク・備品獲得プレゼンテーション」を行い、その審査を地域の方々にご協力いただきました。
- ・3年生では、地域の方々による面接指導を実施しました。



ほどよい緊張感のもと、それぞれの経験を活かしたアドバイスを受けながら、本番さながらの練習を行うことができました。

今年度のまとめ

- ・今年度も、地域教育協議会の活動は大変充実しており、コーディネーターの非常に献身的な取組により、生徒、保護者、教職員の理解と協力の下、様々な支援がスムーズに進められました。
- ・今年度は職場体験学習に向けて年度当初と年度末に教職員との綿密な打ち合わせを行い、そこで議論された内容が反省そして次年度への課題として反映させていきます。また、各種活動での地域連携を含めた円滑な運営に携わっていただくことで教職員の大きな負担軽減になりました。
- ・本校の特色であるボランティア部の活動が、顧問であるコーディネーターの温かいご指導のもと、年々活動が充実してきています。ボランティア部が行っている様々な活動は小学校ボランティア委員会や放課後子ども教室と協働で行っている活動で、小中一貫教育を推進する原動力の1つとなっています。
- ・学校や地域での活動を通じて連携を深めることで、「学校」「地域」「保護者」の関係がより深まるとともに、学校運営にも非常に寄与していると感じます。

来年度に向けて

今年度の活動を基盤としながら、生徒会、保護者、地域、コーディネーター、ボランティア、教職員が統一された目標実現に向けて連携を深め、協働することでより効果的で充実した活動へと発展させ小中一貫教育や幼小中連携のリーダーシップを発揮していくことが目標です。

また、学習支援や環境整備、地域連携、キャリア教育、地域防災訓練などを継続・発展させていくことや、各種講演会(ゲストティーチャー)には保護者・地域の方々を招いて共に研修していく機会を増やしていきたいと考えています。

テーマ

## 子どもと共に育つ地域 夢よはばたけ！

## ～育もう！育てよう！学校・地域・家庭の連携～

目標

- ①ボランティア委員会活動の充実と中学生との連携
- ②地域ボランティアと児童の交流の場を増やし、様々な地域行事に参加しようとする児童を増やすと共に、地域の人材を発掘する。

## 今年度の取組紹介

- ・今年度の新たな取組の一つとして、5年生での防災活動学習を行いました。10月に人と防災未来センター（神戸市）で自治連合会の方々と共に学習し11月には地域の方に講師をお願いして防災体験学習を行いました。そして、12月には地域の方々をご招待しての防災学習発表会を行いました。
- ・ボランティア委員会は、毎月玄関前掃除や歩道橋掃除を行っています。今年は、新しい取組として中学校のボランティアクラブやサッカー部などの中学校の先輩方と日程を合わせ、地域の方の安全指導の下、小中合同クリーンキャンペーンを実施しました。ボランティア部部長さんから、熱の入った話を聞き、エコ石けんの売上金を渡すセレモニーも行いました。



## 今年度のまとめ

今年度も、先生方とコーディネーターさんや地域のボランティアさんなどが、早い時期から話し合いを行い、昨年度よりさらに充実した活動ができました。また、各学年共、取組のまとめを作成し、来年度に向けて、2月にコーディネーターさんとの反省会を持ちました。ここで出された感想や意見が、来年度の活動に反映され、さらに学校のニーズに合った取組になっていきます。

小中連携の一環として、今年度は「防災活動実習」を地域の方を講師にお招きして行いました。簡易タンカの作り方や模擬消火実習、バケツリレーなどの成果を発表しました、一人ひとりの熱のこもった発表にご招待した地域の方々からは、「すばらしい発表でした」「来年も続けていきたい」等の感想をいただきました。ボランティア委員会では、コーディネーターさんや地域の方の付き添いのもと、「校区のゴミ拾い活動」を展開しました。この活動が、富雄中学校での「防災生徒総会」や「ボランティアクラブ」につながっていきます。そして、子どもたちが招待した音楽会には、地域ボランティアの方々が多数参観され、「学校」「地域」「保護者」の関係がより深まったと思います。

## 来年度に向けて

地域や保護者への発信をさらに増やし、新たなボランティアさんの発掘を行っていきます。地域と教職員との距離をさらに縮め、学校と地域、保護者が「協働」し、子どもを育てる学校を目指します。また、小中一貫教育の取組として中学校につながる学習の内容を学校運営協議会や地域コーディネーターの方々と共に考えていきます。

テーマ

**子どもと共に育つ地域 夢よ はばたけ**

目標

○創立50周年記念事業を通して地域・保護者・学校との繋がりを更に深める。

○地域の方と共に取り組むことを通して、ボランティアの素晴らしさ、地域の良さを知ると共に、地域に対する誇りと自信、地域を守る心を育む。

## 今年度の取組紹介

今年度は、創立50周年目の節目になり、様々な記念行事に取り組みました。特に、11月1日には、「鳥見50周年記念祭」として、市長・教育長・教育委員会関係者・地域の方々をご来賓として招き、来場者は1200名を超え、盛大に挙行することができました。記念祭は、午前、記念式典・記念音楽会、午後、様々な分野で活躍されている地域の方を招いて、落語、コンサート、お話し会、マジックショー、同窓会、出店など様々なイベントを地域と共に企画し、地域と学校が一体となることができました。また、式典に向けて、全校児童による「夢のモニュメント」を制作したり、年間を通して、50周年記念事業として様々な行事を行ったりすることができました。

学習支援ボランティアの方々には、様々な学習支援をしていただきました。環境美化委員会での花植え、家庭科の裁縫や調理実習の補助、図書の本の整理、児童への読み聞かせの指導など、児童にとってより良い学習環境を整えることができました。また、児童にとっては、ボランティアに対する感謝の気持ちを持つ良い機会にもなり、地域の方々にも児童と触れ合うことで、生きる喜びに繋がっていると感じています。



## 今年度のまとめ

今年度、鳥見小学校は創立50周年にあたり、地域・保護者・学校が連携して、11月1日に「鳥見50周年記念祭」を行い、その他にも様々な記念行事を行うことができました。地域コーディネーターが窓口となり、地域ボランティアの方に来ていただき、花植え・木々剪定・伐採などの環境整備や図書ボランティアによる図書の本の整理・修繕、家庭科・図工科の授業補助などに協力していただきました。地域コーディネーターと教員との話し合う機会も増え、地域コーディネーターによって、地域ボランティア・ゲストティーチャーの人材発掘に手腕を発揮していただき、児童にとってボランティアの方とのたくさんの出会いにより、ボランティアの大切さを実感することができました。

## 来年度に向けて

来年度は、今年度、創立50周年記念事業でできた地域との繋がりを生かし、更に強固にしていけるよう事業を進めていきたいと思っています。特に、校内の環境美化・学習環境の改善、児童の豊かな体験活動に取り組んでいきたいと考えています。また、富雄中学校区で連携した取組にも積極的に参加し、輪を広げていき、小中一貫教育にも繋げていきたいと考えています。

テーマ

**子どもと共に育つ地域 夢よ はばたけ**

—思いを伝え合い 自ら進んで活動できる子どもに—

目標

○地域と共に育ち、富雄の地域を好きになる子どもを育もう。

○地域の方と心揺さぶる体験・活動を通して、思いを伝え合い自ら進んで活動できる子どもを育てよう。

○校区内の幼・小・中の連携の推進

## 今年度の取組紹介

・年3回の「お話の会」に、地域で活躍されている『野の花ぶんこ』の方4名に来ていただいて、素話や絵本の読み聞かせ、グローブシアター、手遊び等、様々な手法でお話をさせていただきました。どの方もいい声でやさしく語りかけるように話してください、子どもたちは「すごい！どうなってるの？」と驚いたり不思議に感じたり、お話の世界に引き込まれ、想像する楽しさを味わっていました。



・菜の花プロジェクトは、毎年地域の方の力を借りて進めています。

菜の花を収穫し、種取りをして菜種油ができるまでの大変さを体験しました。今年は特に、たくさんの種から少ししかできない貴重な油を、ボランティアの方と共に、東大寺の大仏様に奉納しました。昔の人の苦勞を知り、そして奈良の文化財大仏様を大切に思う気持ちも生まれました。

・6月のファミリー参観でリズム教室を行いました。参加人数が多く十分に体を動かして遊ぶことができるように、小学校の体育館を貸させていただきました。親子で手遊びやふれあい遊びをしたり、体操やバルーンをしたりして、体を存分に動かして遊びました。「広い体育館で子どもと一緒に楽しく、思い切り体を動かせました。」など保護者の声も聞かれました。



## 今年度のまとめ

・本園で取り組んでいるESD（持続発展教育）を通して様々な人や物事に会い、経験や体験を重ねていくことで、様々なことに興味関心を持ち、『遊び』を通して行う活動の時間に自ら取り入れるようになってきています。そして、いろいろなことを教えてください、温かく見守ってくださる地域の方が住む富雄を、また奈良を大好きと思える子どもたちに育ちつつあります。

・取組の内容を深めたり、校区内の施設を利用したり、実施回数を増やしたりなどすることで、これまで続けて実施してきた、地域の方との心揺さぶる体験や活動を、さらに充実させることにつながったと思われます。

## 来年度に向けて

・地域の方が講師となって、子どもたちの学びにつながる支援をいただき、ESDに取り組んできたことが、自主的に動く姿となってきています。“継続は力なり”と信じ、今まで取り組んできたことが、園生活2年間だけで終わらず、次の学びへの芽生えとなるようにしていきたいと思えます。

・地域の方が、園の活動に気軽に参加していただけるように、『環境を通して行う経験や活動』の理解を深めたり、継続している活動のよさを知らせたり、呼びかけたりなど、これからも働きかけていきたいと思えます。

テーマ

## 子どもと共に育つ地域 夢よ はばたけ

### —様々な人とのかかわりを通して—

目標

- 幼小中、地域との連携を推進する。
- 運動遊びなどの多様な体験やお話しの世界や外国文化に触れ、豊かな感性を育む。
- 様々なひとやものとかかわる中で親しみや愛情を感じたり、人間形成の基礎となるコミュニケーション力を育む。

今年度の取組紹介

#### ○創立50周年記念事業

今年度は幼稚園小学校合同創立50周年事業を行いました。この事業に取り組むにあたり、地域コーディネーターの方々を中心に、たくさんの地域の方のご協力を頂きました。記念祭に向けて事前に、木の剪定や子ども達と共に花植えをして環境整備をしていただきました。また記念祭当日は、地域の方が様々な形でボランティアスタッフとして活躍してくださり、卒園生やその保護者、地域の方と多くの方々が集まっていただき盛大な記念祭となりました。園児も記念音楽会に参加したり、幼稚園の50歳を祝う大きなケーキや遠足等の経験を制作した作品展を開催したりし、多くの方から「頑張ったね」「上手だね」と声をかけていただき、心に残る記念祭となりました。作品展に来ていただいた方からは、「息子が幼稚園に来ていたときを思い出しました。」「幼稚園の様子がよく分かりました」という声をたくさんいただきました。



#### ○ハーモニカコンサート

地域の会合で出会った奈良市交通安全指導委員の方がハーモニカを得意とされていることを知り、地域コーディネーターの方の仲介により、園児にハーモニカを聴かせていただく機会をもちました。初めてハーモニカの音色を聴く幼児がほとんどで、「きれいな歌（音）」と聴き入っていました。また、交通安全の話や地域の方が園児たちの安全をいつも願っていることなども聞かせていただき、園児にとって貴重な経験となりました。

今年度のまとめ

毎年続けている、環境整備活動では、年数回行うことで、地域の方も子ども達も互いに顔や名前を覚えて「この前（道で）会ったね。」「〇〇さんまた来てね。」と声を掛け合う姿が見られています。保護者からも「子どものおかげで、私も地域の方と知り合いになりました。」という声もきかれ、地域の中で子ども達が育っていくきっかけとなっていると感じています。また、今年度から始めた体力づくりをはじめ、ゲストティーチャーに様々な経験をさせていただいたことで、幼児期に大切な豊かな経験ができました。

来年度に向けて

幼児にとってこれから先の「学びの力」「生きる力」の基礎となる様々な体験ができるよう、来年度も、地域の方々の力を大いに保育に活かしていただけるよう、つながりを大切にしていきたいと思っています。